

2008年8月期 中間業績 及び通期業績見通し

吉高 信

株式会社ファーストリテイリング

執行役員 CFO

1

執行役員CFOの吉高です。

私からは、2008年8月期中間業績、及び
通期業績見通しについてご説明をします。

I.	2008年8月期中間決算概要	P3 ~ P15
II.	2008年8月期通期業績予想	P16 ~ P21
III.	ご参考資料	P22

【資料文中のグループ事業の表示について】

※1 各グループ事業の構成は、以下のとおりとなっております。

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：英国、米国、中国、香港、韓国、フランスにおけるユニクロ事業が含まれています。

国内関連事業：国内を中心に展開しているアパレル小売事業(ユニクロ事業除く)のことで、ジーユー、ワンゾーン、キャビン、アスベジ・ジャパン、ビューカンパニーが含まれています。

グローバルブランド事業：グローバルに展開中、もしくは展開する可能性のあるブランド事業(ユニクロ事業除く)のことで、FRフランス(コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業など)、持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスが含まれています。

※2 資料中の数値につきましては、下記のとおり表示しております。

実額:億円単位切り捨て 構成比・伸び率(%):小数点第2位以下四捨五入

【連結】 2008年8月期 中間業績

売上高 : 3,164億円 (前年同期比+11.3%)
 営業利益 : 542億円 (前年同期比 +25.8%)
 経常利益 : 534億円 (前年同期比 +25.4%)

	2007年8月期 中間期 実績	2008年8月期 中間実績			
		期初予想	実績	前年同期比	
				前年同期比	期初予想比
売上高 (売上比)	2,841 100.0%	3,043 100.0%	3,164 100.0%	+11.3%	+4.0%
売上総利益 (売上比)	1,316 46.3%	1,450 47.7%	1,569 49.6%	+19.2% (+3.3p)	+8.2%
販管費 (売上比)	884 31.1%	991 32.6%	1,026 32.4%	+16.0% (+1.3p)	+3.6%
営業利益 (売上比)	431 15.2%	459 15.1%	542 17.2%	+25.8% (+2.0p)	+18.2%
経常利益 (売上比)	426 15.0%	460 15.1%	534 16.9%	+25.4% (+1.9p)	+16.1%
当期利益 (売上比)	226 8.0%	248 8.2%	286 9.1%	+26.3% (+1.1p)	+15.3%

単位: 億円

3

まず、2008年8月期中間連結業績についてご説明します。

当中間期では売上高は3,164億円、前年同期比11.3%増、
 営業利益は542億円、前年同期比25.8%増、
 経常利益は534億円、前年同期比25.4%増の
 増収増益を達成いたしました。

次のスライドでその要因をご説明します。

【連結】 中間期増収増益の要因

売上高 3,164億円(前年同期比 +11.3%)

- 国内ユニクロ事業 +189億円
- 海外ユニクロ事業 +72億円
- グローバルブランド事業 +62億円

売上高総利益率 49.6%(前年同期比 +3.3p)

- 国内ユニクロ事業 売上高総利益率の改善 +3.1p

売上高販管費率 32.4%(前年同期比+1.3p)

- 国内ユニクロ事業 +65億円
- 海外ユニクロ事業 +31億円
- グローバルブランド事業 +33億円
- のれん償却額 +2億円

営業利益率 17.2%(前年同期比+2.0p)

- 営業利益 542億円(前年同期比 +25.8%)

4

売上高ですが、3,164億円と前年同期比322億円、11.3%の増収となりました。

増収の主な内訳は、国内ユニクロ事業での増収189億円、海外ユニクロ事業での増収72億円、グローバルブランド事業での増収62億円などです。

売上高総利益率は49.6%と、前年同期比で3.3ポイント改善いたしました。これは主に、国内ユニクロ事業において前年同期比で3.1ポイント粗利率が改善したことによるものです。

販管費は、前年同期比で141億円、売上高対比で1.3ポイント増加いたしました。国内ユニクロ事業で65億円、海外ユニクロ事業で31億円、グローバルブランド事業で33億円増加したことが主な要因です。

なお、のれんの償却額は23億円と、前年同期比で約2億円増加しております。

これらの結果、営業利益は542億円、25.8%増益となり、売上高営業利益率は17.2%と、前年同期比で2.0ポイント改善いたしました。

グループ事業別 中間実績

単位：億円

		2007年8月期	2008年8月期	
		中間実績	中間実績	前年同期比
国内ユニクロ事業	売上高	2,342	2,532	+8.1%
	営業損益 (売上比)	407 17.4%	505 20.0%	+24.1% +2.6p
海外ユニクロ事業	売上高	86	158	+83.4%
	営業損益 (売上比)	▲5 -	7 4.8%	- -
国内関連事業	売上高	230	227	▲1.2%
	営業損益 (売上比)	▲15 -	▲11 -	- -
グローバルブランド事業 ※	売上高	178	240	+34.8%
	営業損益 (売上比)	45 25.4%	52 21.8%	+15.6% ▲3.6p

※ プティ ヴィクル社は、決算期を変更したため、8ヶ月分の経営成績(07/07-08/02)を連結しております。

適用為替レート

2008年8月期中間 1USD=110.9円 1EUR=162.5円 1GBP=224.5円

2007年8月期中間 1USD=117.4円 1EUR=154.9円 1GBP=229.6円

5

こちらでは、各グループ事業別の売上高、営業損益を示しております。

まず、国内ユニクロ事業ですが、売上高は前年同期比8.1%増収となり、営業利益は24.1%の増益となりました。

海外ユニクロ事業の売上高は前年同期比83.4%増となり、7億円の黒字を計上いたしました。

国内関連事業では、売上高が前年同期比1.2%の減収となりましたが、営業損失を若干減らすことができました。

グローバルブランド事業では、前年同期比34.8%の増収となり、営業利益も15.6%の増益となっております。

なお、プリンセス タム・タムを展開するプティ ヴィクル社につきましては、決算期を変更した影響から当中間期では8か月分の業績を連結しております。

【国内ユニクロ事業】中間実績

売上高8.1%増、営業利益24.1%増

単位：億円

	2007年8月期 中間実績	2008年8月期 中間実績			
		期初予想	実績	前年同期比	直近予想比
売上高 (売上比)	2,342 100.0%	2,430	2,532 100.0%	+8.1%	+4.2%
売上総利益 (売上比)	1,043 44.5%	1,105 45.5%	1,206 47.6%	+15.6% (+3.1p)	+9.2%
販管費 (売上比)	635 27.1%	682 28.1%	700 27.7%	+10.2% (+0.6p)	+2.8%
営業利益 (売上比)	407 17.4%	423 17.4%	505 20.0%	+24.1% (+2.6p)	+19.5%

6

次に、国内ユニクロ事業について、詳しくご説明いたします。

当中間期の国内ユニクロ事業の売上高は2,532億円、前年同期比8.1%増、営業利益は505億円、前年同期比24.1%増の増収増益の結果となりました。

これは期初計画に対し売上高で102億円、営業利益で82億円上回る結果です。

項目ごとの説明につきましては、次のスライドからさせていただきます。

中間売上高 2,532億円 (前年同期比 +8.1%)

- ユニクロ直営店 前年同期末比 25店舗増 (08年2月末 738店舗) ※
- 既存店売上高 前年同期比 +1.5% (07年8期中間実績 +2.9%)
 最需要期である11月、12月はヒートテックインナーなど冬物商品が好調
 客数 前年同期比 ▲0.9% ⇒ 9月:天候不順のため秋物の立ち上がり遅れる
 客単価 前年同期比 +2.5% ⇒ 値引の減少、一品単価の高い商品が好調

前年比増減率		2008年8月期							
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期累計	3月
既存店計	売上高	▲12.9%	+4.2%	+3.2%	+6.4%	▲0.9%	+1.4%	+1.5%	+8.1%
	客数	▲11.2%	+5.6%	+0.0%	+4.7%	▲6.5%	▲4.8%	▲0.9%	+5.3%
	客単価	▲1.9%	▲1.4%	+3.2%	+1.6%	+6.0%	+6.6%	+2.5%	+2.7%

※ FC店 19店舗を除く

7

国内ユニクロ事業の売上高8.1%増収の背景としては、直営の店舗数が前年同期末比で25店舗増加したこと、既存店売上高が前年同期比で1.5%増加したことによるものです。

既存店売上高1.5%増収の内訳としては、客数がマイナス0.9%、客単価がプラス2.5%となっております。

中間期の最需要期である11月および12月に、ヒートテックインナーやプレミアムダウン、カシミアセーターなど冬物商品の販売が好調だったため、既存店売上高は前年を上回る実績となりました。

客数が減少しているのは、特に9月において、天候が不順であったことにより秋ものの立ち上がりが遅れたことなどが要因です。

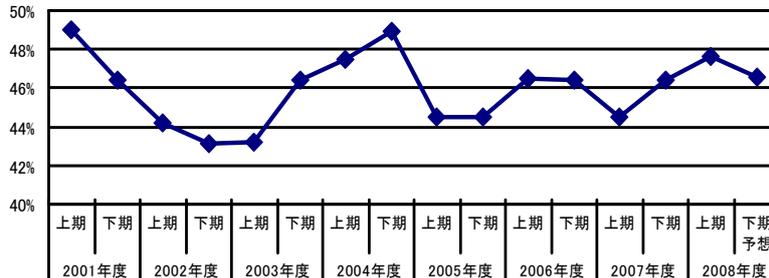
客単価は前年同期比で2.5%上昇しておりますが、この理由としては値引きが全体を通して減少していること、比較的一品単価の高い商品が好調だったことがあげられます。

なお3月の売上高は、春物が好調に立ち上がっていることなどから、既存店売上高は前年比プラス8.1%となりました。

中間 売上高総利益率 47.6% (前年同期比 +3.1p)

- 値引販売のコントロール強化
- 冬物販売が好調だったことにより、値引販売が減少
- 春物商品の早めの立ち上がり

国内ユニクロ 売上高総利益率のトレンド (半期ベース)



8

当中間期の売上高総利益率は前年同期比で3.1ポイント改善いたしました。これは、計画を2.1ポイント上回る結果となっております。

粗利益率が改善した主なポイントとして、3点考えられます。

まず昨年に比べ、値引販売についてコントロールを強化したことです。これは、現場と本部の連携を強化した結果、きめ細かな販売価格管理を行えたことなどによるものです。

次に、冬物のコア商品であるヒートテックインナー、プレミアムダウン、エクストラファインメリノセーターなどの販売が好調だったことにより、値引き販売が減少した影響がでております。

3つ目として、1月、2月において春物商品を早めに立ち上げることができたため粗利益率が改善いたしました。

【国内ユニクロ事業】販管費

中間 売上高販管費率 27.7% (前年同期比+0.6p)

- 人件費率 + 0.2ポイント 新卒採用拡大、地域限定正社員増
- 広告宣伝費率 ▲0.3ポイント 第2四半期は抑制
- 賃借料率 + 0.4ポイント ショッピングセンターなどへの出店増加

単位: 億円

	07/8 中間期		08/8 中間期			
	実績	(売上比)	実績	(売上比)	増減	(売上比)
販管費合計	635	27.1%	700	27.7%	+65	+0.6p
人件費	222	9.5%	246	9.7%	+24	+0.2p
広告宣伝費	109	4.7%	110	4.4%	+0	▲0.3p
賃借料	161	6.9%	185	7.3%	+24	+0.4p
減価償却費	9	0.4%	12	0.5%	+2	+0.1p
その他	132	5.7%	145	5.8%	+13	+0.1p

9

国内ユニクロ事業の販管費は700億円、前期比で65億円増加しております。

これは計画に対し18億円増加する結果ではありますが、売上高販管費比率では計画を下回る水準であります。

なお、金額で計画を上回った要因は、主に売上高が増加したことに伴い人件費や賃借料が増加したことによるものです。

売上高に対する人件費比率は0.2ポイント増となりました。

これは、新卒採用の拡大、地域限定正社員の増加などによる影響です。

広告宣伝費比率は0.3ポイント改善しております。第2四半期において、チラシやテレビCMなどの効率化を進め、抑制した結果が出たものです。

賃借料率は0.4ポイント上昇していますが、これは、ショッピングセンターなどへの出店が増えた影響によります。

【海外ユニクロ事業】 中間実績

海外ユニクロ事業は営業黒字を計上

- アジア（店舗数 8月末 27店舗 ⇒ 2月末 32店舗）
 - 中国・香港 売上および利益とも計画を上回り順調に拡大
 - 韓国 ソウル・明洞(ミョンドン)に大型店を出店、業績を拡大
- 欧米（店舗数 8月末 12店舗 ⇒ 2月末 15店舗）
 - 米国 グローバル旗艦店は好調。営業黒字を計上
 - 英国 11月 ロンドンにグローバル旗艦店オープン
 - フランス 12月 パリ近郊に1号店(コンセプトショップ)オープン

単位: 億円

		2007年8月期	2008年8月期	
		中間実績	中間実績	前年同期比
海外ユニクロ事業	売上高	86	158	+83.4%
	営業損益	▲ 5	7	-
	(売上比)	-	4.8%	-

10

海外ユニクロ事業ですが、売上高は86億円から158億円と83.4%増加し、中間期では営業赤字から黒字へと転換いたしました。

まず、アジアですが、中国および香港においては、売上、利益とも計画を上回り順調な拡大が続いております。韓国においてはソウルに韓国初の大型店となる明洞(ミョンドン)店を12月に開店し、業績を拡大しております。

欧米ですが、米国ユニクロは、ニューヨークのグローバル旗艦店が好調に業績を伸ばし、営業黒字を計上いたしました。英国ユニクロは11月、オックスフォードストリートにオープンしたグローバル旗艦店の開店経費が先行しており、赤字が続いております。フランスでは、12月にフランス1号店となるコンセプトショップをオープンし、順調な滑り出しを見せております。

経営改革を推進中

- キャビン 抜本的な改革の結果、営業利益を確保
- ジュー ウィメンズファッション商品を積極的に展開、営業損失縮小
- ワンゾーン 営業損失は減少したものの計画未達

単位：億円

		2007年8月期	2008年8月期	
		中間実績	中間実績	前年同期比
国内関連事業	売上高	230	227	▲1.2%
	営業損益 (売上比)	▲15 -	▲11 -	- -

※ 持分法適用関連会社である、ビューカンパニーについては、営業外損益として、「持分法による投資損益(07/9~08/2)」▲1.4億円を計上しています。

11

次に国内関連事業ですが、売上高は前年同期比1.2%減となりましたが、営業損失は4億円減少しております。

キャビンでは、主力4ブランドへの統合を進めるなど、抜本的な経営改革をすすめてまいりました。その結果、中間期では営業利益を計上することができました。

ジューにつきましては、ウィメンズファッション商品を積極的に展開するなど、事業基盤の確立を図っております。その結果、営業損失は昨年に比べて縮小しております。

ワンゾーンでは店舗オペレーションの標準化、自社企画商品の強化などを進めてまいりましたが、損失幅削減の計画を達成することができませんでした。

コントワー・デ・コトニエ事業は増収増益

- 直営店 前年同期比 51店舗増 (2008年2月末 325店舗)
- 既存店売上高は前年比で横ばい
フランスで10月・11月のストライキの影響で客数減も、1月、2月は好調
スペイン、イタリアは引き続き好調

プリンセス タム・タム事業はほぼ計画通り推移

単位: 億円

		2007年8月期	2008年8月期	
		中間実績	中間実績	前年同期比
グローバルブランド事業	売上高	178	240	+34.8%
	営業損益 (売上比)	45 25.4%	52 21.8%	+15.6% ▲3.6p

※ 持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、営業外損益として、「持分法による投資損益(07/9~08/2)」▲0.6億円を計上しています。

グローバルブランド事業は順調に拡大しております。

コントワー・デ・コトニエ事業は計画並の売上、利益となり、増収増益を達成いたしました。

直営の店舗数は前年同期末比で51店舗増え、2月末では325店舗となりました。

既存店売上高は前年比で横ばいとなりました。これは、フランスで10月、11月に全国的なストライキがあった影響で客数を落としたものの、1月、2月と販売が好調だったこと、また、スペイン・イタリアでの販売が引き続き好調だったことなどによるものです。

プリンセス タム・タム事業もほぼ計画通りの水準で推移しております。

なお、プリンセス タム・タム事業を展開するプティ ヴィクル社は決算期を変更したため、当中間期では8ヶ月間の業績を連結しております。これに伴う影響は、売上高で約25億円、営業利益で約4億円となっております。

特別利益 3億円

- 固定資産売却益など

特別損失 17億円

- 構造改革費用 7億円
キャビン、ワンゾーンにおける希望退職者募集など
- 固定資産除却損 4億円
国内ユニクロにおける閉店など
- 減損損失 2億円
キャビンにおける不採算店舗に対する減損など

当中間期の特別損益については、特別利益3億円、特別損失17億円を計上しております。

特別利益は、固定資産売却益などによるものです。

特別損失の主な内訳としては、構造改革費用が約7億円発生しております。これは、キャビン、ワンゾーンにおいて希望退職者を募集したことなどによるものです。

また、固定資産除却損は国内ユニクロ事業において店舗のスクラップ・アンド・ビルドを進めたことなどに伴い4億円、減損損失はキャビンの不採算店舗について減損を実施したことなどに伴い2億円計上しております。

単位：億円

	2007年8月末	2008年2月末	増 減
総資産	3,597	3,939	+341
流動資産	2,179	2,510	+330
固定資産	1,417	1,429	+11
負債	1,164	1,584	+420
純資産	2,432	2,354	▲78

14

次に連結バランスシートの説明をさせていただきます。

2007年8月末との比較では、
 流動資産が330億円増加し、固定資産も11億円増えた結果、
 全体の総資産は341億円増加して3,939億円となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。



【連結】B/Sのポイント（2007年8月末比較）

現金・預金及び有価証券の増加 +413億円（1,193億円 ⇒ 1,606億円）

－【国内ユニクロ事業】 営業キャッシュフローの増加など +432億円

たな卸資産の減少 ▲5億円（551億円 ⇒ 546億円）

－【国内ユニクロ事業】 ▲20億円（冬物在庫の減少など）

－【国内関連事業】 +15億円（ビューカンパニー新規連結など）

有形固定資産の増加 +19億円（373億円 ⇒ 393億円）

－【国内ユニクロ事業】 店舗増など +5億円 【海外ユニクロ】 店舗増など +5億円

－【新規連結】 ビューカンパニー +5億円

為替予約勘定の減少 ▲437億円（資産175億円 ⇒ 負債261億円）

－【国内ユニクロ事業】 円高の進行に伴うもの。損益への影響は無し

※負債勘定（為替予約）と資本勘定（繰延ヘッジ利益）の両建てで計上

まず、流動資産ですが、現預金及び有価証券の合計額は、前期末比で413億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業の営業キャッシュフローが、432億円増加したことが主な要因です。

たな卸資産は、前期末比では5億円減少しております。

国内ユニクロで前期末比20億円減少している一方、国内関連事業においては15億円増加しております。これは2月末からビューカンパニーを新規に連結対象としたことの影響11億円などによるものです。

なお国内ユニクロ事業のたな卸資産は当中間期末で378億円と、前年同期末比で67億円の増加となっております。内訳として、冬物在庫が約30億円減少した一方で、店舗数の増加による在庫が約25億円増えていること、その他の増加は春夏シーズンの切り替えを早め、在庫を早めに積み上げたことによる影響です。

有形固定資産は、前期末比で19億円増加しております。

国内ユニクロで出店に伴い5億円増加したほか、海外ユニクロで出店に伴い、5億円増加しています。また、新規に連結を開始したビューカンパニーの影響が5億円となっております。

為替予約は、前期末では175億円の資産計上していたものが、中間期末においては261億円の負債計上となり、差し引き437億円減少いたしました。

これは、円高の進展に伴い、国内ユニクロ事業の保有する為替予約を期末に時価評価したことに伴うものですが、損益への影響はありません。

【連結】 2008年8月期 業績予想

単位：億円

	2007年	2008年8月期		2008年8月期		
	8月期実績	期初予想	前期比	通期予想	前期比	期初予想比
売上高 (売上比)	5,252 100.0%	5,700 100.0%	+8.5%	5,855 100.0%	+11.5%	+2.7%
売上総利益 (売上比)	2,483 47.3%	2,736 48.0%	+10.2% (+0.7p)	2,871 49.0%	+15.6% (+1.7p)	+4.9% (+1.0p)
販管費 (売上比)	1,834 34.9%	2,008 35.2%	+9.5% (+0.3p)	2,070 35.4%	+12.9% (+0.4p)	+3.1% (+0.2p)
営業利益 (売上比)	649 12.4%	728 12.8%	+12.1% (+0.4p)	801 13.7%	+23.4% (+1.3p)	+10.1% (+0.9p)
経常利益 (売上比)	646 12.3%	728 12.8%	+12.8% (+0.5p)	791 13.5%	+22.4% (+1.2p)	+8.6% (+0.7p)
特別損益 (売上比)	▲18 ▲0.4%	▲15 ▲0.3%	- (+0.1p)	▲19 ▲0.3%	- (+0.0p)	- (▲0.0p)
当期純利益 (売上比)	317 6.1%	388 6.8%	+22.1% (+0.7p)	410 7.0%	+29.3% (+1.0p)	+5.9% (+0.2p)

※【連結】 2008年8月期通期(予想) 設備投資額 200億円、減価償却費 80億円
 2007年8月期通期(実績) 設備投資額 264億円、減価償却費 65億円

16

ここからは、2008年8月期業績予想についてご説明します。

連結の通期売上高については、従来予想の5,700億円から5,855億円へ、
 営業利益は728億円から801億円へ、経常利益は728億円から791億円
 へと修正いたします。

グループ事業別 業績予想

単位：億円

		2007年8月期		2008年8月期		2008年8月期	
		通期実績	期初予想	前年比	通期予想	前年比	予想比
国内ユニクロ事業	売上高	4,247	4,480	+5.5%	4,592	+8.1%	+2.5%
	営業損益 (売上比)	640 15.1%	710 15.8%	+10.9% +0.7p	792 17.3%	+23.9% +2.2p	+11.6% +1.5p
海外ユニクロ事業	売上高	169	300	+76.5%	300	+76.5%	+0.0%
	営業損益 (売上比)	▲11 -	▲4 -	-	▲4 -	-	-
国内関連事業	売上高	460	470	+2.1%	508	+10.4%	+8.1%
	営業損益 (売上比)	▲35 -	▲17 -	-	▲27 -	-	-
グローバルブランド事業 ※1	売上高	367	430	+16.4%	430	+17.0%	+0.0%
	営業損益 (売上比)	72 19.6%	74 17.3%	+3.2% ▲2.2p	74 17.3%	+3.2% ▲2.3p	+0.0% +0.0p

※1 プティヴィクル社については、決算期を変更したため、14ヶ月分の経営成績を連結する予定です。

※2 のれんの償却額は通期で52億円(前年46億円)見込んでおります。

※3 持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、営業外損益として、「持分法による投資損益(07/9~08/8)」▲1.6億円を予定しています。

17

次に、グループ事業別の通期業績予想についてご説明します。

国内ユニクロ事業は売上、営業利益ともに上方修正し、売上高4,592億円、営業利益792億円といたします。

海外ユニクロ事業は従来どおりの予想といたします。

国内関連事業では、下期よりビューカンパニーが連結対象子会社となることなどから売上高を508億円に修正いたします。営業損失は中間期の業績を踏まえ、27億円に修正いたします。

キャビンは主力ブランドへの集約を含めた抜本的な改革に着手しており、効率的な経営をめざします。

ジーユーはウィメンズファッション商品を展開すると同時に、店舗の認知度を高める販促活動を実施し、営業損失を削減させることを見込んでおります。

ワンゾーンは本部のスリム化と同時に不採算店のスクラップ&ビルドを進め、収益体質を改善させていきたいと考えています。

ビューカンパニーについては当社の完全子会社とし、経営改革を進めます。

なお、ジーユー、ワンゾーン、ビューカンパニーの3社につきまちは、業務提携を実施し、経営統合に向けた検討を開始しております。

グローバルブランド事業では、従来どおりの予想といたします。

なお、通期でののれんの償却額はビューカンパニーの完全子会社化により6億円増加し、通期で52億円を予定しております。

【国内ユニクロ事業】業績予想の前提

	2007年8月期			2008年8月期			前期比
	実績			予想			
売上高	4,247 億円			4,592 億円			+8.1%
既存店伸び率							
通期	+1.4%			+1.7%			+0.3p
上期(実績)	+2.9%			+1.5%			▲1.4p
下期(予想)	▲0.6%			+1.9%			+2.5p
売上高総利益率							
通期	45.4%			47.2%			+1.8p
上期(実績)	44.5%			47.6%			+3.1p
下期(予想)	46.4%			46.6%			+0.2p
出退店数(直営店)	出店	退店	純増	出店	退店	純増	期末店舗数
通期	75	48	+27	58	46	+12	742
大型店	21	0	+21	22	0	+22	50
標準店等	52	47	+5	34	46	▲12	680
専門店	2	1	+1	2	0	+2	12
上期(実績)	38	28	+10	33	25	+8	738
大型店	10	0	+10	10	0	+10	38
標準店等	28	28	0	21	25	▲4	688
専門店	0	0	0	2	0	+2	12
下期(予想)	37	20	+17	25	21	+4	742
大型店	11	0	+11	12	0	+12	50
標準店等	24	19	+5	13	21	▲8	680
専門店	2	1	+1	0	0	0	12

※ユニクロ直営店出店数のうち、標準店等にエキナカ・エキチカのユニクロ小型店も含まれます。専門店には、ウィメンズインナー専門店「BODY by UNIQLO」、キッズ専門店「ユニクロ キッズ」を含みます。

18

次に、国内ユニクロ事業の下期業績予想の前提につきましてご説明いたします。

下期の既存店売上高伸び率につきましては、3月の売上が好調に推移したことなどを考慮いたしまして、期初計画の0.2%から1.9%へと修正いたします。

下期の直営店の出店数ですが、大型店が12店舗の純増、標準店で8店舗の純減と予想を修正いたします。

下期の売上高総利益率は46.6%と、期初計画に比べて0.6ポイント増に修正いたします。これは、春物が順調に立ち上がったことなどによるものです。

売上高総利益率、経費率をコントロール

単位：億円

	2007年8月	2008年8月期 下期		2008年8月期 下期		
	下期 実績	期初予想	前年同期比	修正予想	前年同期比	期初予想比
売上高 (売上比)	1,904 100.0%	2,050 100.0%	+7.7%	2,060 100.0%	+8.2%	+0.5%
売上総利益 (売上比)	882 46.4%	942 46.0%	+6.8% (▲0.4p)	960 46.6%	+8.8% (+0.2p)	+1.9% (+0.6p)
販管費 (売上比)	650 34.2%	655 32.0%	+0.8% (▲2.2p)	673 32.7%	+3.5% (▲1.5p)	+2.7% (+0.7p)
営業利益 (売上比)	232 12.2%	287 14.0%	+23.4% (+1.8p)	287 13.9%	+23.4% (+1.7p)	+0.0% (▲0.1p)

19

この結果、国内ユニクロの下期業績予想は、売上高は2,060億円、営業利益は287億円といたします。

売上高8.1%増、営業利益23.9%増

単位：億円

	2007年	2008年8月期 通期		2008年8月期 通期		
	8月期 実績	期初予想	前期比	修正予想	前期比	期初予想比
売上高 (売上比)	4,247 100.0%	4,480 100.0%	+5.5%	4,592 100.0%	+8.1%	+2.5%
売上総利益 (売上比)	1,926 45.4%	2,048 45.7%	+6.3% (+0.3p)	2,166 47.2%	+12.5% (+1.8p)	+5.8% (+1.5p)
販管費 (売上比)	1,286 30.3%	1,338 29.9%	+4.0% (▲0.4p)	1,374 29.9%	+6.8% (▲0.4p)	+2.7% (+0.0p)
営業利益 (売上比)	640 15.1%	710 15.8%	+10.9% (+0.7p)	792 17.3%	+23.9% (+2.2p)	+11.6% (+1.5p)

20

上期の実績、及び下期の修正業績予想を踏まえ、国内ユニクロ事業の通期業績は、売上高は8.1%増収、営業利益は23.9%増益を見込んでおります。

【配当金】

2008年8月期 年間配当金 130円を予想

	2007年8月期			2008年8月期		
		中間	期末		中間	期末(予想)
1株配当金	130円	70円	60円	130円	65円	65円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

最後に、2008年8月期の1株当たり配当金は、中間配当で65円、年間では130円と、前期と同水準の年間配当金を予想しております。

なお、ご参考資料として、出退店の一覧表を添付しておりますので、ご参照ください。

なお、昨日リリースしたとおり、パリ グローバル旗艦店につきましては、2009年秋にオペラ座近くのスクリーブ通りに出店することが決定いたしました。また本日、ユニクロがシンガポールに進出することを発表しております。

詳しくは、お手元のリリースをご覧ください。

以上をもちまして、私からのご説明を終わります。
ありがとうございました。

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	07年8月				2008年8月期				
	期末	中間期実績			中間期末	通期 予想			期末
		出店	退店	純増減		出店	退店	純増減	
ユニクロ事業合計	787	45	28	+17	804	81	51	+30	817
国内ユニクロ事業:	748	34	25	+9	757	62	48	+14	762
直営店 ^{※1}	730	33	25	+8	738	58	46	+12	742
大型店	28	10	0	+10	38	22	0	+22	50
標準店等	692	21	25	▲4	688	34	46	▲12	680
専門店	10	2	0	2	12	2	0	+2	12
FC	18	1	0	+1	19	4	2	+2	20
海外ユニクロ事業:	39	11	3	+8	47	19	3	+16	55
英国:	11	2	0	+2	13	2	0	+2	13
中国:	9	2	1	+1	10	6	1	+5	14
米国:	1	0	0	0	1	0	0	0	1
韓国:	14	3	2	+1	15	7	2	+5	19
香港:	4	3	0	+3	7	3	0	+3	7
フランス:	0	1	0	+1	1	1	0	+1	1
ジーユー事業	50	8	2	+6	56	11	4	+7	57
ワンソーン事業	332	10	21	▲11	321	15	51	▲36	296
ビューカンパニー事業	-	-	-	-	106	5	5	0	106
コントワー・デ・コトニエ事業	305	23	3	+20	325	42	4	+38	343
プリンセス タム・タム事業	131	11	0	+11	142	25	0	+25	156
キャビン事業	211	5	21	▲16	195	9	24	▲15	196
アスベジ事業	12	0	1	▲1	11	0	1	▲1	11
総 合 計	1,828	102	76	26	1,960	188	140	+48	1,982

※ ユニクロ直営店のうち、標準店等にはエキナカ・エキチカのユニクロ小型店も含まれます。
また専門店には、ウイメンズインナー専門店「BODY by UNIQLO」、キッズ専門店「ユニクロ キッズ」を含みます。